

第35回関西広域連合委員会の概要

平成25年7月26日
関西広域連合本部

○日時：平成25年7月25日（木） 15：30～17：10

○場所：大阪府立国際会議場 10F 1001-2会議室

○出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、山田委員、松井委員、門川委員、橋下委員、竹山委員、矢田委員、熊谷副委員、田中局長（平井委員代理）

○議事概要

1 協議事項

① 2021年ワールドマスターズゲームズの招致について

- ・ワールドマスターズ招致に関する開催提案書草稿及び広域連合長書簡について、IMGA事務局に提出することを決定した。また、本大会の先駆けとして、関西版マスターズについて、平成26年度創設をめざし検討を進めることとした。
- ・ワールドマスターズを招致するかの判断については、トリノ大会視察を踏まえ、8月の連合委員会で協議することとした。

② 国家戦略特区の動向と関西広域連合としての対応について

- ・国家戦略特区選定について、①地域ではなくプロジェクトを選定すること、②5年以内に大きな経済効果が見込めるか、実現すれば将来的な波及効果が大きい規制改革であること、③単なる財政支援ではなく具体的な規制緩和の提案を含むことが大前提であることなど、国の基本的な考え方について報告があった。
- ・関西広域連合として、①関西としての強みやプロジェクトの位置づけなど優位性を示したうえで、プロジェクト間のコーディネートも可能な限り図りつつ、関西広域連合としての共同提案を検討すること、②共同提案とは別に事業主体が限られているものは個別のアイデア提案を行っていくことを確認した。

③ 道州制のあり方研究会について

- ・7月22日に開催された第5回会合の結果（関西における大都市及び小規模市町村を通じた論点、義務教育を通じた論点）について報告があった。
- ・今後、社会保障や農業分野、税財政制度などの議論を深め、年度末には最終報告書を取りまとめる予定について確認した。

④ 関西広域連合文化振興指針（中間案）について

- ・有識者を中心に検討中の中間案が示され、今後、各府県市の意見照会等を経て、最終案を取りまとめることとした。
- ・現在の規約では、文化事業についての具体的な規定がないため、今後、新規事業（人材育成など）にあわせ、規約改正についても検討していくこととした。

⑤ 関西広域農林水産業ビジョン（中間案）について

- ・有識者を中心に検討中の中間案が示され、今後、各府県市の意見照会等を経て、最終案を取りまとめることとした。

2 報告事項

① 関西電力株大飯発電所3・4号機の現状評価結果について

- ・大飯発電所3、4号機について、原子力規制委員会が「直ちに安全上重大な問題が生じるものではない」と判断した評価結果と評価内容（理由・今後の対策）について報告があった。

② 関西文化の魅力発信事業について

- ・文化庁の文化芸術振興費補助金の採択を受け、人形浄瑠璃をテーマにした「文化の道」事業等に取組むことについて報告があった。

③ 今夏の電力需給状況について

- ・ 節電期間開始後の電力需給状況について、安定した需給状況が確保できていること、日々のピーク需要と気温の関係から解析すると、平成 22 年と比べて平均約 9 %減少していることについて報告があった。

④ 8 月定例会の開催（案）について

- ・ 8 月 29 日 和歌山県庁で広域連合議会定例会を開催することについて報告があった。

3 沖縄の米軍基地負担軽減に対する申入れについて

- ・ 政府に対し、①負担軽減に向けた具体策を早急に検討され、提案すること、②その前提として、在日米軍が低空飛行訓練を実施する際には安全性を最大限確保するとともに、低空飛行訓練が住民に与える影響を最小限にすることを定めた日米地位協定に関する日米合同委員会合意事項を遵守すべく政府において必要な措置をとること、を申し入れることを決定した。